

かすみがうら市議会文教厚生委員会会議録

令和5年12月1日 午後 3時25分 開 会

出 席 委 員

委 員 長 久 松 公 生
副委員長 設 楽 健 夫
委 員 櫻 井 繁 行
委 員 小 倉 博
委 員 服 部 栄 一

欠 席 委 員

な し

委 員 外 委 員

な し

出 席 説 明 者

な し

出 席 書 記 名

議 会 事 務 局 宮 城 恭 子

議 事 日 程

令和5年12月1日（金曜日）午後 3時25分 開 議

1. 開 会

2. 事 件

- (1) 請願第5号 「小中学校の学校給食無償化、地場産・有機食材の拡充を求める請願」について
- (2) 閉会中の所管事務調査の申し出について
- (3) その他

3. 閉 会

開 会 午後 3時25分

○久松公生委員長

皆さん、こんにちは。

委員の皆様には、お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまの出席委員は5名で、会議の定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

それでは、ただいまから文教厚生委員会を開きます。

書記を指名します。

議会事務局、宮城係長を指名いたします。

あらかじめご報告申し上げます。

本日の会議には、傍聴の申出者がございますので、申出のとおり傍聴を許可いたしますので、ご報告申し上げます。

これより傍聴人の入室を認めます。

暫時休憩いたします。 [午後 3時25分]

○久松公生委員長

会議を再開いたします。 [午後 3時27分]

傍聴の方に申し上げます。

傍聴受付の際にお渡しいたしました、傍聴章の裏面に記載しております注意事項を遵守し、お静かに傍聴していただきますようお願いいたします。

本日の日程は、会議次第のとおりであります。

それでは、早速本日の日程事項に入ります。

初めに、(1) 請願第5号 「小中学校の学校給食無償化、地場産・有機食材の拡充を求める請願」についてを議題といたします。

請願書の内容につきましては、既にお配りしておりますが、本日、紹介議員の設楽議員と服部議員がおられますので、設楽議員のほうより請願書の朗読をお願いいたします。

○設楽健夫委員

では、請願書の朗読をさせていただきます。

かすみがうら市議会議長、小座野定信様。

小中学校の学校給食無償化、地場産・有機食材の拡充を求める請願書。

請願趣旨。

学校給食は、子ども達の健やかな成長を保障する学校教育の一環として取り組まれ、セーフティーネットの機能も果たしています。しかし給食費が保護者にとって大きな負担となっている家庭も増えています。保護者の負担軽減のため、給食費無償化や公費助成が広がり3割の自治体が実施しています。憲法第26条は「義務教育は無償とする」と定めており、給食費も無償であるべきです。

市長は全国オーガニック給食協議会のメンバーで、有機食材の拡充に意欲的でもあり7月26日には市主催の有機セミナーも開かれました。これを機に学校給食の質の向上と栄養改善、健康増進、地域の食文化の伝承のためにも、地場産・有機食材を学校給食に取り入れる事を切実に求めます。

以下の事項について請願致します。

請願項目。

- 1、かすみがうら市の小中学校の学校給食費を無償にしてください。
- 2、学校給食に地場産・有機食材の拡充をすすめてください。

署名数は、これ報告入ってきていますか。

[「タブレットに出ている」と呼ぶ者あり]

○設楽健夫委員

はい。

何名になっているのかな。

[「1,940」「1,940だね」と呼ぶ者あり]

○設楽健夫委員

はい。

1,940名の署名、取扱い団体、新日本婦人の会かすみがうら支部、支部長、佐藤みゆきさん、敬称略。という形で請願書が出されていますので、よろしくお願いします。

○久松公生委員長

ありがとうございました。

以上で朗読が終わりました。

これより審査に入ります。

それでは、各委員のご意見等をお伺いいたします。ご意見ございましたら、挙手の上、ご発言をお願いいたします。

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

子育て世代の経済的な負担の軽減というところでは、この給食費の無料というのは非常に有効な施策だと、もちろん、僕も子ども2人育てていますので、思っているところです。

つい先日の茨城新聞、11月18日付だったかな、筑西市でたしか近々で2024年1月から、これは給食費完全無料化が始まると。一般財源、そこにぶち込んでくるんでしょうけれども、3億7000万円投入するということでしたよね。たしか児童数4,487名で給食費が4,800円ですから、これ掛ける11カ月で2億4000万円弱になる。生徒の1カ月の給食費が5,300円かな。それで2,329名で、1億4000万円弱で計3億7000万円ぐらいになっているのかなと。

これ、ちょっとかすみがうら市に置き換えて考えてみると、今、小学校の児童が大体1,800人。中学校の生徒が1,080人ぐらい。小学校の給食費4,800円、中学校が5,300円、同じですから、大体これ、皆さんも御存じのように1億6000万円給食費がかかっている。そのほかに、業務委託が1億1000万円あるから、合計2億7000万円弱になって、そういったところの財源的な確保というか、その辺がちょっと難しいな

というようなお話をして、実は僕、この紹介議員、今回はごめんなさいねとお話をさせていただいたところだったんですけれども、近隣市町村の動向なんかも、たしか、僕もちょっと調べると、石岡市なんかは7カ月間限定で始めているところがあるので、ちょっと事務局のほうで、この近隣市町村の動向、ちょっと捉えていれば報告もraitたいなと思ったんですけれども。

〔「よろしいでしょうか」と呼ぶ者あり〕

○久松公生委員長

事務局、お願いします。

○議会事務局（宮城恭子君）

ご報告申し上げます。

土浦市では、今年度10月から3月までの6カ月間無償化。先ほど、櫻井委員からも話がございましたように、石岡市では9月から3月の7カ月無償化。阿見町では9月から12月の4カ月無償化。それから、龍ヶ崎市でも10月から3月まで6カ月無償化となっております。

また、そのほか、牛久市では、第2回定例会において同様の請願が採択されていたので、調査しましたところ、現在は、まだ給食無償化にはなっていないのですが、その分を高額になった食材や燃料費のほうに、補充させていただいるそうです。市長が本年度交代したので、今後の給食無償化については、現時点で未定であるとの返答をいただいております。

○久松公生委員長

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

結局は、その財源の問題だと思っていて、よく設楽委員がおっしゃっているエビデンスだと思うんだけれども、近隣市町村の動向を見ると、やっぱりこの短期間で国の交付金なんかも使いながらやっている自治体も多いのは事実ですけれども、逆に言うと、かすみがうら市がダイナミックに展開するためにも、今、給食費の無料化を図って、新しい定住・移住を巻き込むという施策にもつながる可能性もあると思うので、なかなかこの一般財源を投入するということで担保がないというところがありますが、僕としては、この請願で1,940名の方の市民の要望ですから、しっかりと真摯に受け止めて、市のほうに提言をしていく必要があるのではないかという気持ちがあります。

僕としては、本来、この給食費無料とオーガニックとかは、これは別々に考えてもらえるとよかったような気もするんですけれども、服部委員の一般質問にもあって、なかなかオーガニック、その地産地消の農作物は生産も難しいというお話もあったので、そこをこう、一緒にの請願ですけれども、まずは、やはりこの給食の完全無料化を目指して、かすみがうら市も取り組んでいく必要があると思いますから、これは、おおむね私としては賛成をしたいなというふうに、設楽委員からも詳細の説明いただきましたので、そのように考えます。

○久松公生委員長

そのほかございませんか。

服部委員。

○服部栄一委員

請願の趣旨はよく分かります。

ただ、今、櫻井委員からありましたように、オーガニック、有機米、有機野菜、市では、来年から転換期間中の有機米、有機野菜ということで、給食費に対する市の負担は倍増してしまいますよね。倍増した中で、これを、給食費無償化するというのはかなり厳しいと思います、実際問題としてね。

全国的に見ても、有機米、有機野菜を給食に提供して、それで給食費無償化しているこの自治体はないと思います。

ですけれども、無償化を反対する、反対すべきものではないと私は思います。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○久松公生委員長

そのほかはございませんか。

[「いいんですか。いいの」と呼ぶ者あり]

○小倉博委員

いや、私は特に。

○久松公生委員長

小倉委員。

○小倉博委員

2人の意見も重要だと思っていましたから、本当に。

加えて言わせてもらえば、オーガニック、確かに素晴らしいことなんですけれども、今、石岡地区なんかも一生懸命取り組んで、全国的にも有名になっていますけれども、価格を聞くと、やっぱりもうブランド化されて、一般の食材と価格差があるので、オーガニックに関してはちょっと。

併せて、先ほど言いましたけれども、併せて請願というよりも、要望しながら、給食費はやっぱり先ほど言いましたように無償化の方向で進めていってほしいなという気持ちがあります。

[「いいですか」と呼ぶ者あり]

○久松公生委員長

設楽委員。

○設楽健夫委員

給食費については、公営企業会計に移って、今まで校長先生の口座の下に、学校の先生が管理していくというようなことがずっと続いたんですが、かすみがうら市でも公営企業会計に入ってしまった。

様々な形で、児童手当とか、そういうものを受給されている方の待遇も含めて、大分大きく変わってきて、全体の流れとしては、そこに学校給食費の無償化という、まあ、憲法上の問題もありますけれども、大きな流れが、国の中の流れにもなってきていますし、かすみがうら市においても、そういう時期に来ているのではないかと。

あと、この有機栽培の食材の拡充というふうにした場合に、例えば、米一つを取ってみても、農家の販売価格は1万3000円だと。農協の学校給食といえますか、消費者に対する販売価格は1万9000円というような格差がありますけれども、地産地消で、学校給食の中に、農家の方から直接仕入れるとかという様々な工夫も進めて、全体的にこの地域の子どもたちの食材は地産地消で、より健康的な食材を求めていくという体制に移っていけば、この上に素晴らしいことはない。

これ以降、来年3月の議会に来年度予算が入っていきますけれども、そこに対して基本的な考え方を、この請願書を採択して、それで始まっていくという、これから始まっていくということについて、やはり議員も、署名された方々の意向も大切にしながら進めていくことが必要になっていくんじゃないかと思いますので、ぜひともこの請願については、この時点で採択して、市のほうに、こういう基本的な考え方で財政運営をお願いしていくと。あるいは、苦勞をしていただくということが必要になっていくことを求めていきたいなというふうに思います。

賛成、請願採択ということで、自分としてはお願いしたいと思います。

○久松公生委員長

様々な、委員の皆様から今ご意見いただきまして、基本的に学校給食無償化に関しては採択というか、賛成の方向の意見が出ていたと思います。

また、服部委員はじめ、皆さんおっしゃったように、地場産とか有機食材の拡充、この辺が同時にどのぐらいできるかというのは問題がありますが、そこは、先ほど櫻井繁行委員が言ったように、給食費無償化のほうをベースとして、それに準じてこの地場産、有機食材も進めていくというような形のよう、皆さんの意見が一つになったような思い、というふうに思うんですが、そのような流れかなと思いますが、そのほか、またほかに、もう一度何かあれば。

[「俺はなし」「なし」と呼ぶ者あり]

○久松公生委員長

それでは、ご意見等ないようですので、これより討論を行います。

討論はございませんか。

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

要は、採択すべきものというか、賛成の立場で討論させていただきますけれども、正直言うと、この今1億1000万円が業務委託で一般財源から積み増し、業務委託で支出をしている中で、給食費1億6000万円を、またさらに一般財源からの上乗せの支出というところが、どういった形でこの財源をいろんなところからかき集めてくるかというのはちょっと懸念が残るところではありますけれども、やはりコロナ禍によっての家計への影響であったりとか、物価高騰で経済的負担が少しでも軽減すればいい。

あとは、子育て世帯の経済的な負担の軽減にも必ずやつながることになると思いますし、先ほど意見言わせてもらったように、完全無償化になれば、このかすみがうら市の独自の政策になりますから、新たに子育て世代、若い世代のお父さん、お母さん、子どもたちがこのかすみがうら市に定住していただけるような、そんな施策にも希望を持ってつながっていけばいいなという期待を込めて、私は採択すべきものとして賛成討論させていただきたいと思います。

○久松公生委員長

そのほか討論はございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○久松公生委員長

それでは、討論を終結いたします。

これより請願第5号を採決いたします。

請願第5号を採択することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○久松公生委員長

ご異議なしと認めます。

よって、請願第5号は採択することに決定いたしました。

それでは、ただいま本委員会では採択いたしました請願第5号につきましては、執行機関に送付し、その処理の経過と結果の報告を請求したいと思います。ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○久松公生委員長

ご異議なしと認め、さよう決定しました。

次に、（２）閉会中の所管事務調査の申し出についてを議題といたします。

閉会中の所管事務調査申出書（案）についてお目通し願います。

ここで暫時休憩いたします。　〔午後　３時４５分〕

○久松公生委員長

会議を再開いたします。　〔午後　３時４５分〕

お諮りします。

本案のとおり議長宛てに閉会中の所管事務調査について申し出ることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○久松公生委員長

ご異議なしと認めます。

それでは、そのように議長宛てに申出させていただきます。

〔「委員長、ごめん」と呼ぶ者あり〕

○久松公生委員長

はい。

暫時休憩します。　〔午後　３時４５分〕

○久松公生委員長

それでは、会議を再開いたします。　〔午後　３時４５分〕

〔「その他でしょう」と呼ぶ者あり〕

○久松公生委員長

以上で、本日の日程事項は全て終了いたしました。そのほか、何かございませんか。

櫻井委員。

○櫻井繁行委員

今回、こういった形で、市民の皆さんから2,000名弱、要望の声が上がってきて、給食費無料とオーガニック、地産地消の安心安全な食育も考えて子どもたちに提供してくれということだと思えるんですけど、ぜひ国への意見書として、やはりこの給食費の完全無料化というのは、国が先頭立ってやるべきことであると、最終的にはそういうことになってきてしまうと思うので、以前、議会運営委員会でも話が出ていましたけれども、ぜひ、委員長と副委員長に音頭取ってもらって、かすみがうら市議会として給食費の完全無料化を国に要望するような意見書、そういったものを出せるような形を、今回、12月定例会、12日までですけれども、もし間に合えば、そこで。

今日、議長もいらっしゃっているんで、議会運営委員会の矢口委員長なんかとも調整してもらって、何かそういう少しく、かすみがうら市議会として発信できるような機会をどんどんつくっていけば、やっぱり市民の負託に応えるというのも非常に大事なことだと思うので、その辺、少し2人で調整していただいて、音頭取って進めてもらえれば思うので、お願いいたします。

〔「お願いします。意見書」と呼ぶ者あり〕

○久松公生委員長

今の櫻井委員のお話ですが、国にね、意見書として、市議会としてどうだということなので。

○櫻井繁行委員

まずは、やっぱり給食費無料に絞ったほうがいいと思うのですが。

○久松公生委員長

そうですね。

○久松公生委員長

暫時休憩します。

[午後 3時48分]

○久松公生委員長

それでは、会議を再開します。 [午後 3時50分]

ただいまのご意見ですが、意見書のほうを提出するという方向で、ちょっと副委員長と調整させていただいて、また皆様のほうに相談、報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

[「お願いします」と呼ぶ者あり]

○久松公生委員長

そのほか、何かございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○久松公生委員長

それでは、ないようですので、ここでお諮りします。

委員会会議録作成の件ですが、委員長に一任いただきたいと存じますが、ご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○久松公生委員長

それでは、異議もないようですので、そのようにさせていただきます。

それから、次回の文教厚生委員会を12月20日水曜日、午後1時30分から第1委員会室にて開催いたします。よろしくお願いいたします。

以上で、本日の文教厚生委員会を散会いたします。

ご苦労さまでした。

散 会 午後 3時51分

かすみがうら市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

文教厚生委員会委員長 久 松 公 生